

庁舎建設特別委員会会議録

[平成23年 1月11日開催]

南あわじ市議会

庁舎建設特別委員会会議録

日 時 平成23年 1月11日
午後 2時00分 開会
午後 2時35分 閉会
場 所 南あわじ市議会委員会室

I. 出席委員、欠席委員、事務局出席職員及び説明のために出席した者の職氏名

出席委員（17名）

委 員 長	川 上 命
副 委 員 長	久 米 啓 右
委 員	廣 内 孝 次
委 員	谷 口 博 文
委 員	出 田 裕 重
委 員	柏 木 剛
委 員	楠 和 廣
委 員	印 部 久 信
委 員	熊 田 司
委 員	小 島 一
委 員	中 村 三 千 雄
委 員	砂 田 杲 洋
委 員	北 村 利 夫
委 員	蛭 子 智 彦
委 員	登 里 伸 一
委 員	長 船 吉 博
委 員	森 上 祐 治
議 長	阿 部 計 一

欠席委員（2名）

委 員	原 口 育 大
委 員	蓮 池 洋 美

事務局出席職員職氏名

事	務	局	長	瀧	本	幸	男
次			長	阿	閉	裕	美
課			長	垣		光	弘
書			記	川	添	卓	也

説明のために出席した者の職氏名

副	市	長	川	野	四	朗				
市	長	公	室	長	田	村	覚			
市	長	公	室	次	長	中	田	真	一	郎

II. 会議に付した事件

1. プロポーザルの審査結果について…………… 4
2. その他…………… 13

III. 会議録

庁舎建設特別委員会

平成23年 1月11日(火)

(開会 午後 2時00分)

(閉会 午後 2時35分)

○川上 命委員長 おくればせながら、あけましておめでとうございます。

公私にわたりまして、いろいろと御協力をいただきました点、この席を借りまして厚く御礼を申し上げる次第でございます。

庁舎特別委員会の方も、建設特別委員会の方も初めての会ということで、本年いよいよきょうの説明もいただいて、いよいよスタートでございますが、皆様方議員さんにおかれましても、執行部の皆さんにおかれましても、信頼関係の上に立ったなかで議論を交わしていただいて、市民の皆様方に喜ばれるような庁舎建設、また市民交流センターというものを建ち上げていきたいとかように思っておりますし、今後、委員会といたしましても、南あわじ市の中には旧南淡町の方で支所がありますので、そういった支所というものを今日までのいろいろなことを参考資料にするためにも、今度の委員会があった後、十分視察をして、またそういったことの後、先進地の視察というような計画を私は副委員長と相談をしております。そういったことについての今後とも御協力のほどをよろしくお願いを申し上げたいと思います。

それでは、執行部の方、何かごあいさつがあれば一つ。

○副市長(川野四朗) 新年でございますので、おくればせながらでございますが、あけましておめでとうございます。また、本年もどうぞよろしくお願いをしたいと思います。

ことは平成23年、辛卯、いわゆるうさぎ年でございますので、飛躍の年というふうに私どもも思っております。うさぎ年に負けないように大きくジャンプして飛躍をしたいと考えております。特に、油断をなきようにしたいと思っておりますが、ことしも一年、どうかよろしくお願いをしたいと思います。

きょうは、かねてから実施をしておりました、新庁舎の実施設計業務のプロポーザルの結果について説明をさせていただくことになろうかと思っておりますので、どうかよろしくお願いをしたいと思います。

○川上 命委員長 ちょっと言いおくれましたが、きょう欠席委員として原口委員と蓮池委員が欠席ということでございます。北村委員はちょっと、早退やな。

それでは早速ですが、きょうの議題のプロポーザルの審査結果についての御説明をよろしくお願いたします。

次長。

○市長公室次長（中田眞一郎） それでは、私の方から昨年の12月24日に実施をいたしました、新庁舎建設基本実施設計業務に係るプロポーザル審査委員会の結果につきまして御報告を申し上げたいと思います。

昨年10月15日から28日までの期間、制限付きの公募型プロポーザル方式により公告を行いました結果、お手元の資料3ページをお開き願いたいと思います。

資料3ページにあります技術提案書、提出者一覧表のとおり、市外の設計業者7社、それから市内の設計業者10社がそれぞれ企業体を組んでいただいて、合計7つの企業体から技術提案書の提出がございました。7つの企業体の内訳でございますが、6企業体につきましては市外の設計事務所が代表構成員、残り1企業体につきましては市内の設計業者が代表構成員というふうな構成となっております。

審査委員会は、平成22年12月24日、この中央庁舎、中央別館A、B会議室におきましてプレゼンテーション、それからヒアリングを実施し、審査委員8名、内訳につきましては1ページをごらんおきをいただきたいと思うんですが、庁内の職員5名それから学識経験を有する者3名により、7企業体の提案について審査を行いました。審査委員の役職、お名前につきましては、1ページのとおりでございますが、当初9名ということで教育長さんも予定をしておったんですが、急遽公務が入ったというようなことで、教育長については欠席をされております。

審査委員会には、各技術提案書、提出者4名から5名の説明者が出席し20分間のプレゼンテーション。それから、各委員による質疑応答15分、合計35分間のプレゼンテーション、ヒアリングを実施いたしました。

ヒアリングは、終了後委員8名により審査委員一人当たり提出書類の評価として35点、それからプレゼンテーション、ヒアリングの評価として65点の合計100点満点、委員8名の総合計が800点満点の要綱で実施をいたしました。

すべての審査終了後、各委員の採点結果を集計し、最高点を取得したNTTファシリティーズ・社家1級建築士事務所・フタバ設計共同企業体を最優秀提案者とし、また安井・中川・蔦共同企業体を最優秀提案次点者としてそれぞれ選考いたしました。

審査結果表の内訳でございますが、2ページをお願いいたします。まず、1番左側の審査項目の詳細でございます。これにつきましては、社団法人公共建築協会が発行しております、プロポーザル方式による設計者選定の進め方などを参考に、事務所の実績、配置技術者の資格、実績及び配置人数、南あわじ市経済活性化への寄与、取り組みの意欲、設計業務の実施方針及び手法、設計業務受注に係る見積金額、この6項目にそれぞれ配点を行い審査評価を行いました。

結果、表左側から順に、得点の高い順に並べさせていただき、一番左側が最優秀提案者でありますNTTファシリティーズ・社家1級建築士事務所・フタバ設計共同企業体となっております。なお、一番下の合計欄が8名の審査委員の総得点となっております、最優秀提

案となりましたNTTファシリティーズにつきましては687点となっております。次に、その右側でございますが、総得点678点で次点となりました安井・中川・葛共同企業体でございます。なお、その右側に一番上の欄が空白となっておりますが、その次点者の右側からは総得点の高い順に並べさせていただいておりますが、企業体名につきましては非公表とさせていただきます。

最優秀提案者となりました、NTTファシリティーズ・社家1級建築士事務所・フタバ設計共同企業体につきましては5ページをお願いしたいと思います。南あわじ市のシンボルとして、長く市民に愛され親しまれる庁舎を設計業務の実施方針と位置づけ、今まで2万4,000施設1,600万平米を超える建物の設計、施設管理、運用実績を生かした新庁舎建設を提案いただきました。

NTTファシリティーズのこれまでの主要業務実績については、一番後ろ17ページに詳しく業務成績が、業務実績が掲載されております。中でも、免震構造を採用した建築物としては、2003年に中伊豆町庁舎、現在の伊豆市中伊豆庁舎。2007年には、日本一安く日本一安全で日本一利用しやすい免震構造庁舎の関ヶ原町の庁舎、2008年には朝日放送新社屋を設計した実績があるようでございます。特に提案内容の中では、既存庁舎との一体感におきまして、新庁舎との間に広場空間が積極的に配置されており、人の流れと人の集いの場ができることで、既存庁舎との一体感が形成されることに期待が持てる提案内容となっております。

また、開かれた庁舎というテーマでは、機能的、意匠的に今回の新庁舎建設敷地の特徴である、前面の三原川に向けた施設構成が可能となるような提案がされております。

また9ページ、カラー刷りの9ページでは、南あわじ市の地場産業である瓦を使った南あわじらしさを感じさせる庁舎として、単に伝統的な屋根に使うにとどまらず、現代的なさまざまな活用が提案され、伝統と革新という未来志向の提案がされております。中でも、瓦についてのさまざまな活用方法についても御提案がございました。1つ目には、市民の交流スペースとしての瓦を使ったパーゴラ。2つ目には、瓦本来の魅力である屋根材としての「かわらルーフ」。3つ目としましては、外観のアクセントとしての「かわらウォール」。4番目には、廃瓦を利用したリサイクルの活用としての「かわらベイブ」。5番目には、適度な日射の抑制性を持った、すだれ効果の発揮が期待できる「かわらルーバー」などの活用方法についても御提案がございました。

いずれにいたしましても、当方が策定いたしました基本計画、この趣旨を十分理解され、総合的に見て他の企業体の提案内容よりも秀でていたというような感想を審査委員の皆さんもお持ちだったようで、結果的に最終提案者として選考されたというふうに思われます。

なお、今後のスケジュールにつきましては、この特別委員会で報告させていただいた後、最優秀提案者の公表を市のホームページ、それから2月1日発行の広報誌、それからあすにでも島内日刊5紙に対しまして広報を行う予定とさせていただきます。

なお、本日お配りをさせていただいております資料の中で、特に7ページに添付してございます建物の外観イメージ。これにつきましては、あくまで今現在での基本的なイメージ図でございまして、完成図面とは若干の差違が生じるということにつきまして御理解をいただきたいと思っております。詳細にわたります完成予想図、これにつきましては、基本設計業務が完了予定となります本年の末ごろ、皆様方に公表できる段取りで進めていきたいと思っております。

誠に簡単ではございますが、12月に開催させていただきましたプロポーザル審査委員会の御報告とさせていただきます。

○川上 命委員長 ただいま、次長の方から御説明がありました。
御質問を賜りたいと思っております、よろしく。
砂田委員。

○砂田泉洋委員 この2ページの、次点以降の業者名はなんで公表できない。

○川上 命委員長 市長公室長。

○市長公室長（田村 覚） まず、当初公募するとき、最優秀者と次点については公表させていただきますというのが一つ。それと、最優秀者の提案内容は市に帰属すると、ただし次点者以降については市に帰属しないので返還するということなので、公表を控えさせていただきます。

○川上 命委員長 砂田委員。

○砂田泉洋委員 もう一つだけ、これ設計料は幾らでした。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） このプロポーザルの2ページ目に、設計業務受注に係る見積金額、これも点数に影響しとるわけなんですけども、これはあくまで参考資料として見積書を出していただいておりますので、最終的に今から業者さんと、この間出てる見積額イコールもしくはそれ以下ですよという中で、最終的な契約の額がもうじき決まります。その段階で、またお配りさせていただくわけなんですけども、強いて言えばこの一番下の120点、合計点満点120点のところの点数でもってですね、発注予定額は消費税込みで8,800万円余りやったと思うんで、ここらが反映された数字がこの下の何点とか、

120点の満点120点の中の内訳各社の中にあられてるのかなということ、ちょっと読み取っていただきたい。それと、今言いました、NTTさんにつきまして最終的に見積額ですけれども、今、参考見積りの状態なんで、決まり次第また議会に報告させていただきたいと思います。

○川上 命委員長 砂田委員。

○砂田泉洋委員 ちらっと、これはうわさで聞いたんやけど、6,000万円台という設計料の提案もあったと聞いたんですけど。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 金額、個別にはちょっと今申し上げられないんですけど、5,000万円台から8,000万円台さまざま、要するに8,800何がし以内で各社出ておりました。やっぱり、上下かなりの差がございました。それが今言いました、この審査結果の合計点の見積額の点数が比例した数字に近い数字が出てるかなと思います。

○川上 命委員長 よろしいですか。
小島委員。

○小島 一委員 ということは、点数が高いほど設計料が安いというふうな理解でよろしいんですか。点数の高い方が、設計料が安いと。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） きっちりそうでもないわけなんで、あくまで技術提案とセットで評価してますので、一概に言えないんですけども、おおむねそういう状態があらわれるというふうな推測をしていただいてええんかなと思います。

○川上 命委員長 小島委員。

○小島 一委員 それと、12月の議会でも、この採用者のみ公表して後は技術的に公表、企業秘密の部分があるというふうに言われとったわけですが、この説明書の中で企業秘密というのはあるんですか。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 企業秘密というのは、例えばですね、このNTTさん一つ採用してはいますが、その中で、これは先ほど言いましたように市に帰属していますので、今、公表させていただいておりますが、例えば瓦の5段階活用とかいうのは、やはりその企業の一つのアイデアかなというような部分かなと思います。

○川上 命委員長 小島委員。

○小島 一委員 それと、最後ですけども、採用されなかった方への結果説明等は十分にされるべきやと思うんですが、その辺はどんなふうにされてますか。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） まず、自分とこの点数がどうであったかと、人さんのやつは別として、自社の点数が何点だったという、自社の分を見せてほしいと言えば見せるつもりであります。

○川上 命委員長 小島委員。

○小島 一委員 点数見せるだけですか。だから、採用された方が、他社と比べてどれだけどういう部分ですぐれておったからというふうな、そういうふうな説明は一切ないという話ですか。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） まず、8人の審査委員考え方さまざまで、それぞれ視点が一緒というわけにいかないので、その思いでもって説明するというのはいかがなものかなというのでありますので、その点数の内訳表ですね、これでもって見ていただくことによって、自社がどうであったかというのを御判断していただくことになるのかなと思います。

○川上 命委員長 よろしいですか。

ほかに。ございませんか。

蛭子委員。

○蛭子智彦委員 この配点の方なんですけれども、見積書というか、35点と65点というふうに書いてるんですが、提出書類の評価というのは1と2どんなような、これ全部で100点ですね。それで、審査項目の詳細を1、2、3、4、5、6ということで、それぞれ点数出てるわけですが、推測なんですけれども、例えば1の1であれば総得点16ということは8人で2点というそんな配点をするんですか、どんなような計算になるんでしょうか。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 今、蛭子委員さんの言われてました主要業務の実績、総得点で16点ございます。ということは、8人が審査しておりますので、ここにウエイトが2点係ってると。ただし2点の中身は、どんなんが2点で、どんなんが1点で、どんなんが0点かというのは、これは今後のプロポーザルの関係ありますのでちょっとそれは言えません。

それと、上からずっといきまして、③の南あわじ市活性化への寄与、ここから上全部で個人一人当たり35点。それから、4番の取り組み意欲、5番の手法、6番の設計の見積額、ここに65点ウエイト係ってます。だから、今言いましたように、一項目ずつを8で割ればそこに何点係ってくるのかが読めると思うんですけども、例えば3点係ってる場合、3点の基準は何ですかというたら、これは先ほど言いましたように今後のプロポーザルの関係もありますのでちょっと公表できないんですけど、何点係っているかというのは総点数が割り戻したら出るのかなと思います。

○川上 命委員長 蛭子委員。

○蛭子智彦委員 ということは、各委員の視点というのは公平で平等で同等ということになると。それで、これを見ましたら、一番大きな要素、審査結果に結局結論として与えた要素としては、6番が一番差の開いたところ、最優秀提案者と次点者とでは付く引くいろいろありますけれども、最も決定的な要素であったのが見積金額というような読み方ができるわけなんですけれども、普通一般の公募、競争入札であれば金額は公表されるんですけども、ここを公表、最優秀提案者と次点者についての金額の公表というのは今後どうなるのか。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） まず、先ほど言いました8で割り戻しすれば、見積額に対

するウエイト、120点を8で割りますと15点ということですので、100点の内金額見積にウエイトは15点という解釈。それと、先ほど言いました、最優秀提案者の参考見積額、これについては今から額が最終的に決まるので、決まった段階では最優秀提案者の見積額は皆さん方に御報告させていただく予定でございます。ただし、次点者あるいは次点にも及ばなかった業者さんの見積額については伏せさせていただきたいと思います。

○川上 命委員長 蛭子委員。

○蛭子智彦委員 結局、その金額については参考ということであって、それに幅をどれくらい持たせるかということは決まってるんですか。参考といいながらも、やはり見積額というのがかなり大きなウエイトであるならば、余り変わりがあたらぐあいが悪いかなと思うんですが。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） これもですね、公募するときには条件であくまで参考見積という出だしてくださいよと。それについては何点かのウエイトは係りますというだけの思いでございます。それで、最終的に参考見積額と最終的に今後、ここ1週間か10日のうちに詰めるんですけども、契約額は参考見積額は絶対に上回らない、同額もしくは以下でという条件をつけてございます。

○川上 命委員長 蛭子委員。

○蛭子智彦委員 次点者については公表しないということになってはいますが、できればそういう公平・公正というか、情報開示というのがいろいろと基本になるかと思えますので、技術提案というよりは金額の問題というのは、その内容はどうかというのには企業秘密というようなことにならないと思えますので、公平さ公正さをやはり明らかにするためにも、優秀者と次点者との金額については公表するべきであるというふうに思います。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 冒頭、砂田議員さんのときの御質問にもお答えさせていただいてますけれども、この最優秀提案者が96点持ってますよね。次点者が69点ということは、そこらの率で最終的に96点の方の最終契約額は御報告させていただきますので、

それでもって、次点者あるいは次点に至らなかった方々の見積額を想像していただければというふうに思います。

○川上 命委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

谷口委員。

○谷口博文委員 これは、この提案についてはこれでええねんけど、建物は、外構でもこうしてさまざまな瓦を使っていただいて、外回りの駐車場とかさまざまなことやっていただいとるわな。これを、すべてで2.5億何ぼやという金になるんけ。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 当然、提案される企業さんにつきましては、我々のつくっております基本計画書、概要版も含めて渡してます。だから、それぞれ建物は1.7億円ほどであるし、用地代は4億円ほどあるし、ちょっと外構のことは忘れたんですが、そういうのを熟知した中で出てきてます。ただし、やり方によってもっと高くなる場合も、これだけの面積に外構の分の瓦を敷くのか、廃瓦とかいわれてますけれども、それによって額が違ってくるんで、こういう使い方でもって外構の緑化の部分というか、駐車場の分とか歩く部分とかこういう使い方もありますという提案なんで、それはお金との関係で、最終的に何平米使えるかとかいうような最後の基本設計、実施設計で決まってくるのかな。提案としてこういう使い方ありますというので、その使う面積によって額は違ってくるのかなと思います。

○川上 命委員長 谷口委員。

○谷口博文委員 私は、こないして外構でも、かわらテラスか南の外観を見していただいた南あわじ市庁舎にふさわしいような景観というか、やっていただいとるから、これは大体提案されたら、このような景観で外構もやってくれるのよの。瓦を使こうてくれるわけだ。

○川上 命委員長 室長。

○市長公室長（田村 覚） 我々、1.7億何がしでもって本体を建てるという部分にウエイトを置いた提案になってます。外構で1億円とか2億円とあるんでしようけれども、

提案された事業体は、本体を何とか市の基本計画の額に合わしつけないかと。後は、附帯の周りの周辺についてはこういう使い方ありますよという話なんで、多少は上下出るのかなと。少なくとも、我々は今までもいわれてますように事業費、本体の事業費はどんなことがあっても提案の中で、これはつくればもっとお金するねんけど、これでよろしいかというような提案だめですというようなことで、基本的に本体の17億円にウエイトを置いた提案をもらってますので、外構とかいろいろなところでの周辺整備については若干変わるかもわかりませんが、本体は何とかその額で治めたいという気持ちは業者さんに伝わってるものと思ってます。

○川上 命委員長 よろしいですか。
ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○川上 命委員長 それでは、このプロポーザルの説明についてはこれで打ち切りたいと思いますが、その他の件で何か御質問があれば。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○川上 命委員長 ちょっと、委員長の方から副市長に質問しますが、大体今の計画的にはことしの末ということになってましたが、この市民交流センターについてのモデルケース、各旧町単位で何か所かこしらえて、そういった計画は4月ごろから予定しとるんやけれども、どういった計画で執行部が計画しとるんですか。
室長。

○市長公室長(田村 覚) まず順序として、このたびこのプロポーザルで庁舎の業者決まりました。次は、各地区の公民館の耐震改修がいる、耐震診断、耐震改修がいる事務所。あるいは、事務所が手狭で交流センターとしての事務所のスペースがないというのがありますので、このプロポーザルで業者が決まったら、それ以外の市内の業者さんで入札して設計士を選びます。それで、どの公民館には耐震診断と耐震改修、事務所の改築要るかというのを、その新たに市内の設計業者さんで設計してもらったものでもって、まず改修のいる公民館、いらぬ事務所より分けします。それで、いる事務所については、当然今から23年度になりますと各21カ所回ります、我々。回る中で、「あんたとこの公民館は事務所が狭いので直しますよ」と、あるいは「耐震改修せなあかんのですますよ」というような話していきます。そういった中で、まず一番に考えられるのは、何もしなくて

もいける交流センターあるかもわかりませんよね。そういうところについては何もしなくていいわけなんですけれども、モデル的に実施する、実施しないはこれまでの質問のときもお答えさせていただいておりますけれども、地域の熟度というんですか、まず物理的にさわって改修せないかんとこはそれなりに時間を要しますけれども、何もしなくても即交流センター化できるようなところは即できるんですけれども、そこには当然組織として交流センターとしての受け入れ体制、地区の組織ですよ、そこらの熟度、そういう話を新年度になったらしていきますので、そこらで話し合いしながら決めていくのかなという思いでございます。

○川上 命委員長 このことについて、今のお答えについて何かございませんか。
 ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○川上 命委員長 それでは、そういうことでよろしくお願ひしたいと思います。
 それでは、副委員長これで終わります。

○久米啓右副委員長 執行部には、丁寧な答弁ありがとうございました。
 これをおもちゃして、庁舎建設特別委員会を終了いたします。

(閉会 午後 2時35分)

委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

平成23年 1月11日

南あわじ市議会庁舎建設特別委員会

委員長 川 上 命